

令和2年度

福岡県ひきこもり対策推進事業報告書



福岡県ひきこもり地域支援センター
(福岡県精神保健福祉センター内)

目 次

I	はじめに	1
II	令和2年度福岡県ひきこもり対策の概要	2
III	令和2年度の事業実績	
1	相談支援	3
2	人材育成事業	5
	(1) ひきこもり支援者研修会	
	(2) サポーター養成事業	
3	ネットワークの構築	8
	(1) ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議	
	(2) ひきこもり地域支援センター実務者連絡会議	
	(3) ひきこもり対策連絡調整会議	
4	ひきこもり本人・家族への支援	11
	(1) フリースペース	
	(2) 家族サロン	
	(3) 家族教室	
5	情報発信	14
6	普及啓発	15
IV	参考資料	16

I はじめに

内閣府が令和元年度に発表したひきこもりに関する調査結果では、自宅に半年以上閉じこもっている15歳から64歳までのひきこもり者は、全国で推計100万人以上といわれています。この調査結果から本県のひきこもり者を推計すると4万人以上に上ります。

ひきこもり対策においては、平成21年度から厚生労働省の「ひきこもり対策推進事業」により「ひきこもり地域支援センター」の各都道府県・指定都市への設置が推進され、令和2年12月時点において79か所設置されています。また、平成25年度からは、ひきこもり状態にある本人やその家族に対するきめ細かく継続的な相談支援や早期の把握を目的として「ひきこもりサポーター養成研修事業」、「ひきこもりサポーター派遣事業」が開始されました。平成27年4月には生活困窮者自立支援法が施行され、ひきこもり対策はこの制度に組み込まれ、これまで第一次相談窓口であった当センターは、より専門的対応を行う機能が求められるとともに、関係機関のネットワーク構築を促進していくことが明確に示されました。

また、令和元年度には、国は就職氷河期世代の支援を推進することを打ち出し、この中でもひきこもり状態にある方に対し、一層のきめ細かな支援が必要とされました。

福岡県のひきこもり地域支援センターは、平成22年6月に当センターに設置し11年が経過しました。令和2年7月には、身近な地域で相談に対応し、市町村への専門的助言や地域のネットワーク構築を促進するため、ひきこもり地域支援センターサテライトオフィスを筑後と筑豊の2か所に設置し、令和2年度の相談延件数は約2,700件と大幅に増加しました。あわせて、保健所圏域毎にネットワーク会議を開催し、地域での顔の見える関係づくりに力を入れているところです。

令和2年度のひきこもり対策推進事業の報告書を作成しましたので、ひきこもりに係る支援において参考にしていただきたいと存じます。

最後になりましたが、日頃から当センターにおけるひきこもり対策の推進にご協力いただき、関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

福岡県精神保健福祉センター
楯林 英晴

Ⅱ 令和2年度福岡県ひきこもり対策の概要

【方針】

ひきこもりに関する悩みを抱える方や家族を関係機関と連携し継続的に支援するとともに、身近な市町村で相談や支援が受け入れられる体制を整備する。

【概要】

1 相談支援

身近な地域で相談に対応するとともに、市町村への専門的助言や相談支援を充実させるため、令和2年7月に筑豊サテライトオフィス（田川市）、筑後サテライトオフィス（久留米市）を設置した。

ひきこもり地域支援センター及びサテライトオフィスの3か所で、電話、来所での相談、訪問・同行支援により、ひきこもりの当事者やその家族、関係機関からの相談に対応した。令和2年11月からはオンラインで相談できる環境を整備した。

また、市町村の相談体制を把握するため全市町村（政令市除く）を訪問した。

2 人材育成

ひきこもり支援に関わる人材の育成、資質向上を目的に研修会を保健所圏域毎に9か所で実施した。

3 ネットワークの構築

ひきこもり支援に関わる実務者レベルの連携体制を構築するため、ひきこもり支援者地域ネットワーク会議を保健所圏域毎に9か所で実施した。

また、支援機関の連携強化のために、ひきこもり地域支援センター実務者連絡会議、ひきこもり対策連絡調整会議を開催し、情報や意見交換を行った。

4 ひきこもり本人・家族への支援

当事者の支援として、居場所としてのフリースペースを定例的に実施した。

また、家族相互の支え合いや交流のために家族サロンを定例的に実施し、さらに家族としての対応を学ぶための家族教室を開催した。

5 情報発信

サテライトオフィスの開設に伴い、ポスター及びチラシ等を作成し、市町村をはじめとした関係機関に配布を行うとともに、メディアを通じた広報も行い、広く県民や関係者に周知を行った。

6 普及啓発

市町村や関係機関からの依頼に応じて、ひきこもりに関する講話やひきこもり地域支援センターの普及啓発を行った。

Ⅲ 令和2年度の事業実績

1 相談支援

【目的】

ひきこもり状態にある本人や家族、関係機関からの相談に対し、専門的に助言を行い、対象者への相談内容に応じて、適切な関係機関へつなぐ。また、関係機関と情報交換を行うなど、対象者への支援の状況を把握するとともに、適切な支援方法について検討を行う。

【事業内容】

① 電話相談事業

月～金曜日 9時～17時15分（祝日及び年末年始を除く）

② 来所相談事業

月～金曜日 9時30分～16時20分（予約制） 面接はおおむね1時間程度

③ 訪問・同行支援

必要に応じて家庭訪問を行い、事例に応じて関係機関への同行支援や当事者の興味がある活動等への同行等を実施。支援機関と連携して訪問等を行う。

④ オンライン相談

令和2年11月から開始。当センターに来所して相談をされた方で、希望者を対象に実施。

【実績】 ※過去の相談状況については巻末に掲載

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響（5月に緊急事態宣言の1回目が発令）もあり4～6月は前年度よりも減少した。7月にサテライトオフィスを設置した以降は電話相談が増加したものの、来所相談や訪問の件数は伸び悩んでいる。

訪問・同行のアウトリーチは、自ら支援を求めることが難しい方や潜在的な相談者を把握し早期に関わりを持つために重要であり、積極的に取り組んでいきたい。

① 電話相談件数（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひきこもり地域支援センター	95	88	70	125	117	91	90	94	78	80	74	89	1,091
筑豊サテライト				28	55	31	40	38	38	44	51	57	382
筑後サテライト				45	63	56	58	101	105	88	90	96	702
合計	95	88	70	198	235	178	188	233	221	212	215	242	2,175

② 来所相談件数（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひきこもり地域支援センター	9	13	20	20	19	28	32	34	38	30	34	54	331
筑豊サテライト				5	9	5	5	8	6	5	5	5	53
筑後サテライト				5	15	9	8	9	13	6	10	13	88
合計	9	13	20	30	43	42	45	51	57	41	49	72	472

③ 訪問・同行支援件数（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひきこもり地域支援センター	1	0	2	2	1	3	1	1	2	0	0	3	16
筑豊サテライト				0	6	1	2	6	5	2	4	7	33
筑後サテライト				1	2	0	2	1	4	2	6	5	23
合計	1	0	2	3	9	4	5	8	11	4	10	15	72

④ オンライン相談件数（延）

令和2年11月～令和3年3月（センターのみ） 2件

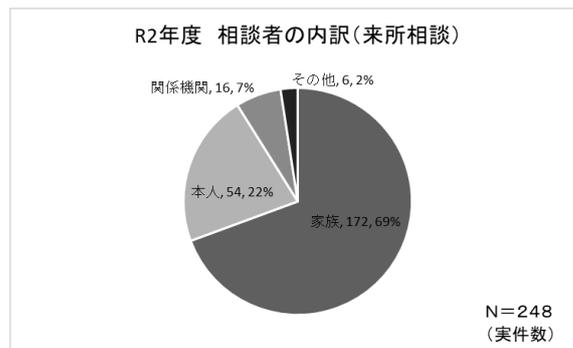
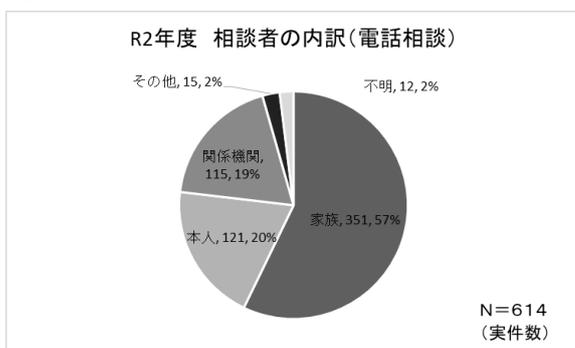
遠方の居住者や新型コロナウイルス等で外出を控えたい相談者が気軽に相談できる利点がある。一方で、ひきこもり本人の外出する機会が減少すること、家族が相談する場合は、自宅に居る本人の存在が気になり自由に相談ができないことが課題となっている。

《参考》 過去3年間の月平均相談件数の比較

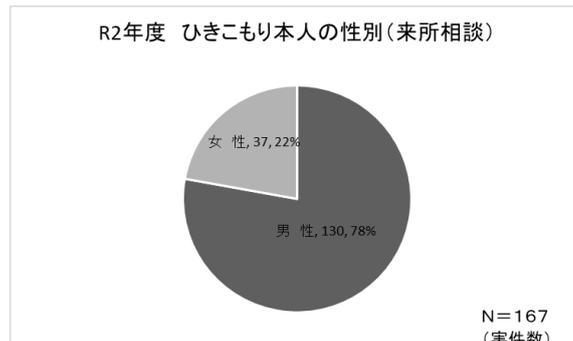
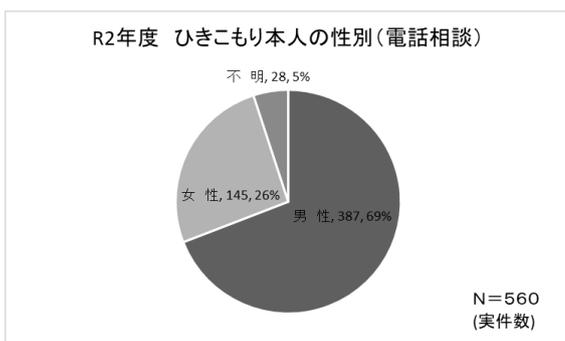
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
電話	78.5	92.7	110.8	181.3
来所	25.8	31.2	33.3	39.3
訪問・同行	1.8	3.9	2.6	6.0

【相談の内訳】 ※過去の相談内訳については巻末に掲載

① 相談者の内訳



② ひきこもり本人の性別

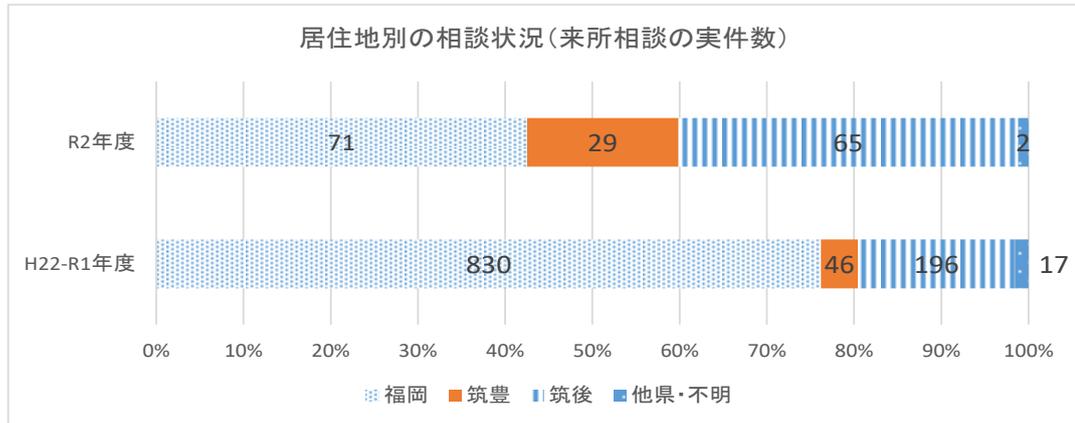


③ ひきこもり本人の年代



《参考》居住地別の相談状況

令和2年7月に筑豊サテライト（田川市）、筑後サテライト（久留米市）を開所したことから、令和2年度は福岡地域以外の相談にも多く対応できた。



2 人材育成事業

(1) ひきこもり支援者研修会

【目的】

ひきこもりの相談や訪問支援に対応できる人材を育成するとともに、支援者としての資質の向上を図る。

【対象】

自立相談支援機関、市町村、社会福祉協議会、地域包括支援センター及び保健福祉環境事務所等においてひきこもり支援に関わる職員

【内容】

- ① 「本県のひきこもり対策について」
講師：福岡県精神保健福祉センター社会復帰課
- ② 「就職氷河期世代支援とひきこもり対策について」
講師：福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室

③ 「ひきこもりに関する理解と支援の流れ」

講師：福岡県精神保健福祉センター 医師

※嘉穂鞍手保健福祉環境事務所は「発達障害の理解とひきこもり支援」の内容で実施

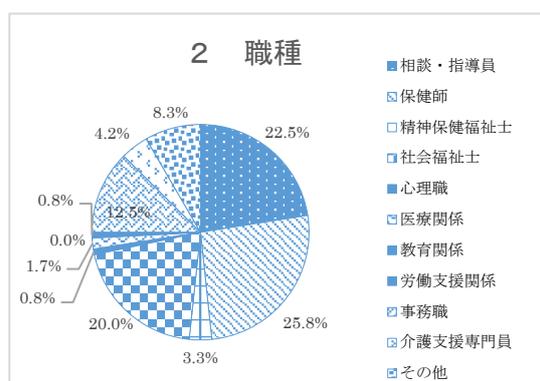
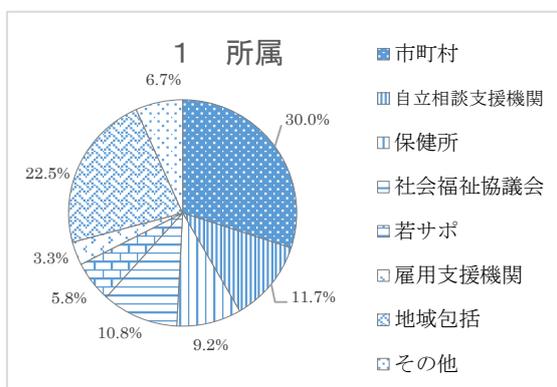
【実績】 10：00～12：00 会場は各保健福祉（環境）事務所

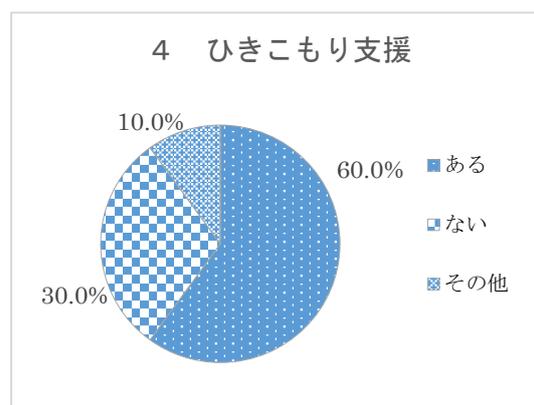
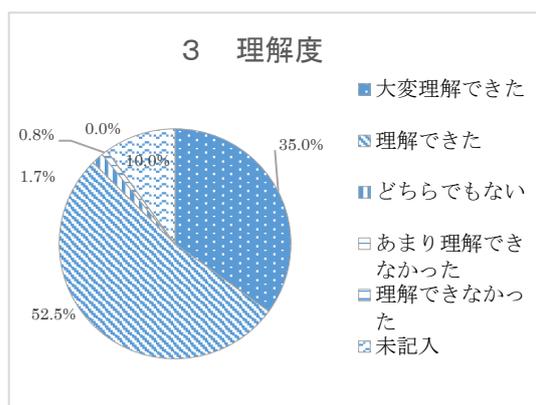
保健所	日程	参加者数(内訳)								備考	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
嘉穂・鞍手	11月12日(木)	36名	7	6	7	4	1	0	7	4	
粕屋	11月25日(水)	21名	5	0	4	6	0	0	6	0	
筑紫	12月17日(木)	26名	9	0	1	4	1	0	9	2	
宗像・遠賀	12月18日(金)	17名	7	1	2	1	2	0	3	1	
糸島	12月24日(木)	10名	1	0	1	0	2	4	2	0	
北筑後	1月22日(金)	22名	4	0	5	5	1	0	5	2	※新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで開催
田川	1月26日(火)	19名	5	2	2	1	1	0	2	6	
京築	2月9日(火)	23名	3	2	3	2	2	0	5	6	
南筑後	2月19日(金)	36名	15	1	3	5	0	0	2	10	
合計		210名	56	12	28	28	10	4	41	31	

①市町村 ②自立相談支援機関 ③保健所 ④社会福祉協議会 ⑤若者サポートステーション ⑥雇用支援機関 ⑦地域包括支援センター⑧その他

【アンケート結果】

- ・ ひきこもりの相談窓口となる市町村や自立相談支援機関以外では地域包括支援センターからの参加が多く（22.5%）、関心の高さが伺えた。
- ・ 研修の理解度は、「大変理解できた」「理解できた」を合わせると9割近くとなり、おり良好であった。
- ・ 回答者の3割は、ひきこもり支援を行ったことがないと分かった。





(自由記載)

○ ひきこもり支援において、困難に感じたこと

- ・ 本人に会えない。会えるまで時間がかかる。
- ・ 本人には困り感がない。本人と家族の思いが違う。
- ・ 本人、家族が地域から孤立し、相談できない状態になっていることが多い。
- ・ 家族も障害等を抱えそれぞれに課題があるため、誰を優先し支援を進めてよいか分からなくなる。
- ・ ひきこもり本人が知的、精神障害を抱え、母親は認知症が出現し、双方の支援の仕方に悩んでいる。
- ・ 同居するひきこもり本人が親の介護を拒否する。親は本人を置いて入院できないといわれたことがある。
- ・ 高齢者の支援ができてひきこもり本人までは支援できていない。高齢者の虐待につながるのか心配。
- ・ どこに繋ぐか知識がなく、そのままになった。どこに相談したらよいか悩んでいた。
- ・ 家族は変化を求めて相談に来る。支援に時間がかかり不安になる。
- ・ 長期間の関わりで担当者が替わると支援が途切れることがある。
- ・ 家族との信頼関係をどう築くか悩んでいる。
- ・ 家族支援が支援につながることを知り、楽になった。
- ・ 結果を求めがちな支援者が「待つ」ことをしながら対応する。そのことをチームみんなに浸透してもらうこと。

○ ひきこもり支援の中で連携をとるために必要なこと

- ・ 事例を通して顔の見える関係を作ること。事例検討は互いの役割が見えてくると思う。
- ・ 日頃からこまめに情報交換を行う。支援者同士の報連相で利用者のたらいまわしを少なくすること。
- ・ 答えに早く辿り着くのではなく、道筋を一緒に考えていくことが大切。
- ・ 高齢者の状況確認の際、ひきこもり相談窓口も一緒に訪問をすると連携がとりやすい。
- ・ 主体的な支援にならず、客観的に対象者を捉え、本人に選んでもらえる選択肢を増やす。

- ・相談者との信頼関係を第一に考え、関係機関と情報共有を密にし、タイミングを逃さず支援する。
- ・家族と長期間関わることができる支援、家族との関係性を築くこと。家族によく理解してもらい、支援者と共通認識を持てること。
- ・支援者が抱え込まないこと。
- ・町や事業所が連携の主体になることは難しい。保健所圏域でのプラットフォームの設置は大変良い。
- ・ひきこもりの相談機関が住民にPRすること。包括からひきこもり支援に必要な対象者を繋いでいきたい。
- ・医療との連携。スーパーバイズが得られると安心する。
- ・多機関との関わりにより、包括的で総合的な評価と対策が必要。自分の機関、他の機関ができることできないことを知ることが重要。

(2) サポーター養成事業

【目的】

ひきこもり支援に関心のある者を対象に、訪問支援や居場所の場においてサポーターとして活動してもらうための基本的な知識（ひきこもりの概要、支援方法、支援上の注意点等）を習得させる。

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

3 ネットワークの構築

(1) ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議

【目的】

支援関係機関の従事者がひきこもり支援に関する情報共有や意見交換等を行うことで連携を図り、ひきこもりの個々の事例に応じたきめ細かな支援を行うことができるようネットワークを促進させる。

【対象】

自立相談支援機関、市町村、社会福祉協議会、地域包括支援センター及び保健福祉環境事務所等においてひきこもり支援に関わる職員

【内容】

- ① 講話「ひきこもり依存症と家族支援 ～家族に変化を促すために～」

講師：福岡県立大学看護学部 准教授 四戸智昭 氏

※ 粕屋保健福祉事務所は精神保健福祉センターと共催で以下の講師で実施
講話「ひきこもり支援の取組み ～事例をとおして～」

講師：臨床心理士・公認心理師 山川京子 氏

② 発表 「市町村等のひきこもり支援の取組み」

保健所	日程	発表内容
嘉穂・鞍手	11月12日(木)	・嘉麻市社協「ひきこもり相談の取組みとすること」
粕屋	11月25日(水)	・志免町社協「不登校・ひきこもり家族交流会」
筑紫	12月17日(木)	・春日市社協「ひきこもり相談への取組み」 ・ひきこもり地域支援センターの事例報告
宗像・遠賀	12月18日(金)	・宗像市「ひきこもり相談への取組み」 ・中間市「ひきこもり相談への取組み」
糸島	12月24日(木)	・福岡若者サポステ「糸島サテライトの取組み」
北筑後	1月22日(金)	・うきは社協の取組み
田川	1月26日(火)	・福智町の取組み ・筑豊サテライトオフィスの事例報告
京築	2月9日(火)	・上毛町社協の取組み
南筑後	2月19日(金)	・八女市の取組み ・広川町の取組み

【実績】 13:00~15:30 会場は各保健福祉(環境)事務所

保健所	日程	参加者数(内訳)	参加者数(内訳)								備考
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
嘉穂・鞍手	11月12日(木)	36名	7	6	7	4	1	0	7	4	
粕屋	11月25日(水)	21名	5	0	4	6	0	0	6	0	
筑紫	12月17日(木)	26名	9	0	1	4	1	0	9	2	
宗像・遠賀	12月18日(金)	17名	7	1	2	1	2	0	3	1	
糸島	12月24日(木)	10名	1	0	1	0	2	4	2	0	
北筑後	1月22日(金)	22名	4	0	5	5	1	0	5	2	
田川	1月26日(火)	19名	5	2	2	1	1	0	2	6	※新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで開催
京築	2月9日(火)	23名	3	2	3	2	2	0	5	6	
南筑後	2月19日(金)	36名	15	1	3	5	0	0	2	10	
合計		210名	56	12	28	28	10	4	41	31	

①市町村 ②自立相談支援機関 ③保健所 ④社会福祉協議会 ⑤若者サポートステーション ⑥雇用支援機関 ⑦地域包括支援センター⑧その他

【意見交換の主な内容】

- ・高齢者を支援しているが同居者にひきこもりがおり支援に悩んでいる(地域包括)
- ・葛藤があるのは当然。社会の圧力が支援者の葛藤の一因になっている(講師)
- ・民生委員がひきこもりを把握していても家族が困っていない場合は、誰がキーパーソンになるか。情報が乏しいというケースは少なくない。まずは家族と信頼関係を作り情報収集に努めること(講師)
- ・ひきこもり本人(50代)は経済的、環境的にも問題はないと言うが、将来的には就労が必要だろうという思いで支援している(市)
- ・当事者と話すことが難しい中で本人と会えている。本人のペースで支援を進めていっていいのでは(講師)
- ・本人は大人だから関わらないという親もいる。障害等の不安を抱えている人は、困難に直面した時に支えてくれる環境がないとひきこもりやすい。親にも関わってもらい、親も安心できる支援を大切にしたい(障害者就業・支援)
- ・ひきこもりの家族から本人の体調不良の相談を受けた。他の機関との連携した支援は思いつかなかった。今後は連携を意識したい(地域包括)

- ・ひきこもりの入口の不登校児に関わっているが親も発達障害を持っており、支援の困難さを感じている（市）
- ・どれだけ就職につながったか数を問われることが多いが、関わったプロセスが大切だと思う。そのことを職員間で共有している（市）
- ・（講話の）親子の共依存関係に共感した。ひきこもりケースに関わると両親が相談者にすべて投げかけてくることもある（市）
- ・20年間のひきこもり者の両親を訪問していた。父が亡くなった時に本人から声がかかり支援につながった（社協）
- ・市町村に義務教育終了後にケースを引き継ぐ体制はあるのか（発達障害者支援センター）
- ・体制ができておらず今後の課題である（町）
- ・田川地域には県大ひきこもりサポートセンターがある。今回はコロナ感染防止のため教育機関に案内できなかったが今後は情報共有の場を持ちたい（県）
- ・メールやオンラインなら相談が受けられるひきこもり者もいる。様々な方法を用意しておいた方がよい（講師）

（2）ひきこもり地域支援センター実務者連絡会議

【目的】

県内のひきこもり地域支援センターの実務者が各センターの取組状況及び課題等に関する意見及び情報交換を行うことで、各センターの取組みの充実を図る。

【参加者】

北九州市、福岡市及び福岡県のひきこもり地域支援センターの担当職員、ひきこもり支援コーディネーター

【日時及び場所】

令和2年6月11日（木）14：00～16：00 福岡県精神保健福祉センター研修室

【内容】

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を踏まえた相談支援の実際について

（3）ひきこもり対策連絡調整会議

【目的】

ひきこもりに関する取り組みについて、医療・福祉・教育・労働等の関係者と情報交換及び意見交換を行うことで、各機関間で恒常的な連携を確保し、ひきこもり対策の充実を図る。

【日時及び場所】

令和3年2月18日（木）15：00～16：30 精神保健福祉センター研修室
※オンラインで開催

【内容】

- 報告「本県のひきこもり対策について」
 - ・福岡県ひきこもり地域支援センターの取組みについて（福岡県精神保健福祉センター）
 - ・就職氷河期世代活躍支援について（福岡県労働福祉部 労働政策課）
 - ・自立相談支援機関の取組みについて（福岡県労働福祉部 保護・援護課）
 - ・若者自立相談支援窓口の取組み（福岡県若者自立相談窓口）
- 意見交換 等

（４）関係会議への出席

他機関が実施する会議に出席し、各機関の役割、課題等を情報共有し、地域の関係者との連携を図った。

日時	名称	主催
令和２年７月９日	宗像地域若者自立支援関係機関会議	福岡若者サポートステーション
令和２年 ７月 17日	福岡県若者自立支援機関連携会議	筑後若者サポートステーション
令和２年 ７月 30日	行橋圏域若者自立支援機関会議	北九州若者サポートステーション
令和２年 ９月 30日	筑豊地区若者自立支援機関連携会議	筑豊若者サポートステーション
令和２年 11月 13日	福岡県子ども・若者支援地域協議会実務者研修会（福岡地区）	青少年育成課
令和２年 11月 27日	福岡県子ども・若者支援地域協議会実務者研修会（筑後地区）	青少年育成課

４ ひきこもり本人・家族への支援

（１）フリースペース

【目的】

社会的ひきこもり状態にある本人を対象に、家族以外に安心して過ごせる場所を確保し、人との関わりや様々な体験ができる場を提供する。

【事業内容】

毎月第 2、4 水曜日 14：00～16：00

【実績】

４月、５月（第 2 週）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。新型コロナウイルス感染症の影響で参加がない日もあったが、参加者 10 名（実数）のうち、新規参加者は 6 名と例年と比較すると新たな参加が多かった。

参加しやすい空間づくりを検討し、後半はプログラム（読書会、ヨガ等）を導入したため参加者が増加した。

令和2年度	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	
	第2	第4	第2	第4	第2	第4	第2	第4	第2	第4	第2	第4	第2	第4												
男性	/	/	/	/	0	0	1	1	0	0	1	2	1	0	0	1	1	1	3	1	1	1	1	3	3	22
女性	/	/	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2	0	3	2	2	12	
合計	/	/	/	/	0	0	1	1	0	0	1	2	1	0	0	1	2	1	3	3	3	1	4	5	5	34

(2) 家族サロン

【目的】

家族同士の交流や語りを通して家族の自助機能を高めるために、家族の分かち合いの場を提供する。

【開催日程】

毎月第3金曜日 14:00~16:00

【実績】

新型コロナウイルス感染症の影響もあり6~8月の参加は1組だけだった。3月に外部講師を招いた講話を行い多数の参加が見られた。参加数を増やし、交流や情報交換の場として充実できるよう、内容の工夫を検討している。

令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加家族	/	/	1	1	1	3	4	3	3	1	5	12	34
人数	/	/	1	1	1	3	5	4	3	1	6	13	38

(3) 家族教室

【目的】

家族がひきこもりに対する正しい知識を学ぶ場を提供し、学習や意見交換をとおし、家族の不安や孤立感の軽減を図る。また、家族が本人に対して主体的な関与ができるように支援する。

【開催日程・内容等】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全5回1クール（令和元年度は4回2クール）とし実施した。各関係機関への文書案内、ホームページ掲載で周知を行い、相談時にも随時案内した。

	開催日程	参加状況	内容
第1回	令和2年8月6日(木)	13 (11 家族)	講話 ひきこもりの基礎知識 講師) ひきこもり地域支援センター 担当職員
第2回	令和2年9月3日(木)	20 (17 家族)	講話 ひきこもりの症状と対応 講師) ひきこもり地域支援センター 医師
第3回	令和2年10月1日(木)	18 (15 家族)	家族の支援と役割 (DVD 鑑賞)
第4回	令和2年11月5日(木)	22 (17 家族)	当事者からのメッセージ 講師) 当センターの相談利用者
第5回	令和2年12月3日(木)	19 (14 家族)	講話 家族の支援と役割 講師) 教育文化研究所 長阿彌幹生氏
合計		92	

【実績】

令和2年度に参加のあった34家族のうち、前年度から継続して参加があったのは14家族であった。

	実施回数	参加延人数	参加実人数(家族)	平均参加者数
令和元年度	2クール(4回×2)	164名	57名(45家族)	20.5名
令和2年度	1クール(5回×1)	92名	44名(34家族)	18.4名

【参加者の背景】

参加者44名(34家族)の内訳

本人との続柄	母親	父親	年代	40代	50代	60代	70代	不明
人数	31	13	人数	2	12	19	9	2

経路	人数
前年度から継続参加	17
当センターからの紹介	14
サテライトからの紹介	3

本人の状況

性別	男	女	年代	10代	20代	30代	40代
人数	27	7	人数	1	14	11	8

ひきこもり期間	1年未満	1~3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10年以上
人数	7	4	5	6	12

【アンケート結果】

教室に参加してよかったという回答が9割近くあった。また、今後の生活に役立つという回答も9割であった。家族との情報交換を望む声が多く、対面による懇談が重要と考えている。

第1回	<ul style="list-style-type: none">・教室に参加することでまた気持ちを改めることができました。・子育ては失敗するもの。親は自分を責めない。・小さな進歩を喜べるようになろうとあきらめずに声掛けはしていこうと思います。
第2回	<ul style="list-style-type: none">・「自宅の居心地が良すぎると引きこもりが長引くということはありません。」という言葉がありがたかったです。・いくつになっても安心、安全な場所を提供したい。・先生の体験談を聞いてよかったです。
第3回	<ul style="list-style-type: none">・ひきこもりになっている人の気持ちや思いが分かりやすく、人それぞれ違うのだと思いました。・同じ思いで集まった他の人たちの意見を聞くことがすごく役に立ちました
第4回	<ul style="list-style-type: none">・本人の体験を話されたのが参考になりました。・親には背中を押してもらったり、巻き込んでもらったりという期待もされていると伝えてもらったことが役立った。・教室を通して、私自身が変わってきている、本人への接し方が優しくなりました。
第5回	<ul style="list-style-type: none">・子どもの存在の大切さ、ありがたさを改めて思いました。・本人が元気であることをまず感謝したいと思います。・教室にお世話になって本人よりも私自身が変化したと思います。自分本意で押し付けていた感情がなくなり、優しく本人を認め、見守りができるようになりました。

5 情報発信

ひきこもり地域支援センターサテライトオフィスを新たに開設したことから、ポスター・リーフレットを作成し、関係機関に配布等、以下の広報活動を行った。

【ポスター、チラシ配布】

- ・県から関係機関各課、市町村、保健所、医療機関等に送付。商業施設等へも配架依頼。
- ・各サテライトにおいても近隣の公民館、図書館等の公共施設へ配架を依頼。

【マスコミを通じた広報】

- ・サテライトオフィスの開催については、西日本新聞（7/7 朝刊）、NHK WEB NEWS（7/27）でも取り上げられた。
- ・県の広報番組、TVQ「飛び出せ！サークルふくおか研」でひきこもり支援について周知（11/21 TVQで放映）

【全戸配布】

- ・県内全戸に配布される「福岡県だより（9月号）」でサテライトオフィスの開設を周知

【その他】

- ・福岡県精神保健福祉センターホームページにおいて周知
- ・市町村訪問において、市町村広報誌への掲載や民生委員会（定例会等）でのチラシ配布を依頼
- ・民生委員、地域包括支援センター等への講話等でチラシを配布
- ・例年作成している事業報告書を作成し、関係機関に配布

6 普及啓発

他機関からの依頼に応じて、ひきこもり地域支援センターの役割等についての講話等を実施し、普及啓発を行った。

日付	対象機関	内容等	対象者数
10月14日	八女市困窮者自立相談支援庁内連絡会議	講話、事例紹介	25名
10月15日	みやこ町民生委員定例会	サテライトの説明	20名
10月16日	朝倉市地域包括支援センター	講話、事例紹介	18名
10月16日	飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク相談支援部会	サテライトの説明	20名
12月10日	大木町役場・地域包括支援センター	講話、事例紹介	26名
令和3年 2月25日	生活困窮者自立相談支援事業従事者研修	ひきこもり支援の 基礎知識	30名

IV 参考資料

<資料1>

令和2年度福岡県ひきこもり地域支援センターの相談状況・・・17

<資料2>

福岡県ひきこもり地域支援センター一開所以降の相談状況・・・27

<資料3>

各事業のチラシ・・・・・・・・・・34

令和2年度福岡県ひきこもり支援センター相談状況

I 実績:令和2年度4月～令和3年3月
ひきこもり地域支援センター、筑豊及び筑後サテライトオフィス

I-1 相談件数 (延件数(実件数))

	電話		オンライン		来所		訪問		同行		計	
	延件数	実件数	延件数	実件数	延件数	実件数	延件数	実件数	延件数	実件数	延件数	実件数
件数	2175	560	2	2	472	167	32	14	40	23	2721	766

I-2 本人について

(1)性別 (実件数)

	電話	オンライン	来所	訪問	同行	計
男性	387	2	130	9	16	544
女性	145	0	37	5	7	194
不明	28	0	0	0	0	28
計	560	2	167	14	23	766

(2)年代 (実件数)

	電話	オンライン	来所	訪問	同行	計
18歳未満	29	0	9	0	0	38
18歳以上～20歳未満	26	0	8	1	0	35
20歳代	137	2	53	4	7	203
30歳代	133	0	51	6	7	197
40歳代	97	0	33	2	5	137
50歳以上	67	0	12	1	4	84
不明	71	0	1	0	0	72
計	560	2	167	14	23	766

(3)ひきこもりの範囲 (実件数)

	電話	オンライン	来所	訪問	同行	計
① 自室からほとんど出ない	19	0	7	0	2	28
② 自室からは出るが、家からは出ない	75	0	23	3	2	103
③ 近所のコンビニなどには出かける	69	2	36	4	3	114
④ 自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	40	0	23	3	3	69
⑤ ①～④までのいずれにも該当しない	127	0	67	4	11	209
⑥ 不明(聴取不可)	230	0	11	0	2	243
計	560	2	167	14	23	766

I-3 相談人数

(延人数(実人数))

	電話		オンライン		来所※1		訪問		同行		計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
家族	965	351	3	3	331	172	25	12	34	11	1358	549
本人	576	121	0	0	233	54	16	6	19	12	844	193
関係機関	610	115	0	0	23	16	17	8	33	25	683	164
その他※2	16	15	0	0	6	6	0	0	0	0	22	21
不明	13	12	0	0	0	0	0	0	0	0	13	12
計	2180	614	3	3	593	248	58	26	86	48	2920	939

※1 複数人の来所により、来所実数と異なる

※2 その他内訳：親類、友人、知人等からの相談

I-4 相談内容

(1) 電話相談

(延件数/複数回答)

	家族	本人	関係機関	その他※1	不明	合計
対応方法について	177	23	56	7	2	265
精神的な悩み全般	36	49	6	1	1	93
将来(今後)について	60	42	7	0	0	109
精神疾患等の病気について	26	10	7	0	2	45
就労について	59	36	17	0	1	113
就学について	10	0	2	0	0	12
対人関係について	1	10	0	0	0	11
家族関係について	41	16	4	0	0	61
経済問題について	18	5	5	0	1	29
社会資源紹介	54	21	12	1	2	90
問い合わせ	274	82	93	10	6	465
現状報告	365	197	87	4	0	653
予約受付	129	48	13	1	0	191
事例に係る業務連絡	19	3	199	2	0	223
その他	125	11	2	0	2	140
計	1394	553	510	26	17	2500

※1 その他内訳：親類、友人、知人等からの相談

(2) 来所相談

(延件数/複数回答)

	家族	本人	関係機関	その他※1	不明	合計
対応方法について	137	21	2	2	0	162
精神的な悩み全般	77	68	0	0	0	145
将来(今後)について	69	75	1	0	0	145
精神疾患等の病気について	20	8	2	1	0	31
就労について	52	78	1	0	0	131
就学について	1	2	0	0	0	3
対人関係について	6	16	1	0	0	23
家族関係について	81	31	2	1	0	115
経済問題について	24	6	0	0	0	30
社会資源紹介	14	26	0	0	0	40
問い合わせ	4	4	0	0	0	8
現状報告	116	124	3	0	0	243
予約受付	0	1	0	0	0	1
事例に係る業務連絡	1	0	7	0	0	8
その他	0	38	0	0	0	38
計	602	498	19	4	0	1123

※1 その他内訳：親類、友人、知人等からの相談

I-5 年代別居住地		(実件数)								
(1) 電話相談		18歳未満	18歳以上	20代	30代	40代	50代以上	不明	合計	
政令都市等	本人住所									
	北九州市	1	0	0	1	3	1	4	10	
	福岡市	6	4	15	15	16	9	21	86	
筑紫	久留米市	8	6	11	11	6	8	1	51	
	筑紫野市	1	3	7	10	4	3	0	28	
	春日市	2	3	10	7	4	4	0	30	
	大野城市	2	1	11	4	6	4	1	29	
	那珂川市	1	0	7	2	3	2	0	15	
	太宰府市	1	1	7	4	4	5	2	24	
	築上町	0	1	0	0	1	0	0	2	
京築	行橋市	0	0	2	4	0	2	0	8	
	苅田町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	みやこ町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	豊前市	0	0	2	1	0	0	0	3	
	吉富町	0	0	1	0	0	0	0	1	
	上毛町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	鞍手町	0	0	0	0	1	0	0	1	
嘉穂・鞍手	直方市	0	0	2	0	5	1	0	8	
	嘉麻市	0	0	0	0	1	0	0	1	
	飯塚市	0	1	5	3	4	1	1	15	
	宮若市	0	1	0	1	0	0	0	2	
	小竹町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	桂川町	0	0	1	0	1	2	0	4	
	糸島市	0	0	1	4	2	2	2	11	
粕屋	志免町	1	0	1	1	1	1	0	5	
	宇美町	0	0	3	1	1	1	0	6	
	須恵町	0	0	2	2	0	0	0	4	
	新宮町	0	0	3	4	1	0	0	8	
	粕屋町	0	0	4	2	1	0	0	7	
	古賀市	0	0	1	3	1	0	0	5	
	久山町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	篠栗町	0	0	0	0	0	0	0	0	
宗像・遠賀	福津市	0	0	2	3	1	0	1	7	
	岡垣町	0	0	1	0	0	0	0	1	
	宗像市	0	0	3	2	2	1	0	8	
	中間市	0	0	0	1	1	0	0	2	
	芦屋町	0	0	0	0	2	0	0	2	
	水巻町	0	0	0	0	0	0	1	1	
	遠賀町	0	0	0	1	0	0	0	1	
田川	田川市	1	0	1	6	2	2	0	12	
	香春町	0	0	1	1	2	0	1	5	
	福智町	0	0	0	1	0	1	0	2	
	糸田町	1	0	0	0	0	2	0	3	
	赤村	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大任町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	川崎町	0	0	0	1	0	0	0	1	
北筑後	添田町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	朝倉市	0	1	3	4	1	1	0	10	
	筑前町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	東峰村	0	0	0	1	0	0	0	1	
	うきは市	0	0	0	3	2	0	3	8	
	大刀洗町	0	0	1	2	0	0	0	3	
	小郡市	1	0	5	1	3	5	0	15	
南筑後	柳川市	1	1	4	3	0	2	1	12	
	八女市	0	0	6	1	2	1	0	10	
	みやま市	0	0	2	4	0	0	1	7	
	大川市	0	0	3	4	1	1	1	10	
	筑後市	0	0	2	3	0	0	0	5	
	広川町	0	0	0	1	0	0	0	1	
	大木町	0	0	0	1	0	0	1	2	
その他	大牟田市	0	1	2	4	1	1	2	11	
	他県	1	0	2	1	4	3	5	16	
	不明	1	3	3	6	4	3	20	40	
合計		29	27	137	135	94	69	69	560	

(2)オンライン相談		(実件数)							
本人住所	18歳未満	18歳以上	20代	30代	40代	50代以上	不明	合計	
政令都市等	北九州市	0	0	0	0	0	0	0	
	福岡市	0	0	0	0	0	0	0	
	久留米市	0	0	0	0	0	0	0	
筑紫	筑紫野市	0	0	0	0	0	0	0	
	春日市	0	0	1	0	0	0	1	
	大野城市	0	0	0	0	0	0	0	
	那珂川市	0	0	0	0	0	0	0	
京築	太宰府市	0	0	0	0	0	0	0	
	築上町	0	0	0	0	0	0	0	
	行橋市	0	0	0	0	0	0	0	
	苅田町	0	0	0	0	0	0	0	
	みやこ町	0	0	0	0	0	0	0	
	豊前市	0	0	0	0	0	0	0	
	吉富町	0	0	0	0	0	0	0	
嘉穂・鞍手	上毛町	0	0	0	0	0	0	0	
	鞍手町	0	0	0	0	0	0	0	
	直方市	0	0	0	0	0	0	0	
	嘉麻市	0	0	0	0	0	0	0	
	飯塚市	0	0	0	0	0	0	0	
	宮若市	0	0	0	0	0	0	0	
糸島市	小竹町	0	0	0	0	0	0	0	
	桂川町	0	0	0	0	0	0	0	
	糸島市	0	0	1	0	0	0	1	
	志免町	0	0	0	0	0	0	0	
粕屋	宇美町	0	0	0	0	0	0	0	
	須恵町	0	0	0	0	0	0	0	
	新宮町	0	0	0	0	0	0	0	
	粕屋町	0	0	0	0	0	0	0	
	古賀市	0	0	0	0	0	0	0	
	久山町	0	0	0	0	0	0	0	
	篠栗町	0	0	0	0	0	0	0	
宗像・遠賀	福津市	0	0	0	0	0	0	0	
	岡垣町	0	0	0	0	0	0	0	
	宗像市	0	0	0	0	0	0	0	
	中間市	0	0	0	0	0	0	0	
	芦屋町	0	0	0	0	0	0	0	
	水巻町	0	0	0	0	0	0	0	
	遠賀町	0	0	0	0	0	0	0	
田川	田川市	0	0	0	0	0	0	0	
	香春町	0	0	0	0	0	0	0	
	福智町	0	0	0	0	0	0	0	
	糸田町	0	0	0	0	0	0	0	
	赤村	0	0	0	0	0	0	0	
	大任町	0	0	0	0	0	0	0	
	川崎町	0	0	0	0	0	0	0	
北筑後	添田町	0	0	0	0	0	0	0	
	朝倉市	0	0	0	0	0	0	0	
	筑前町	0	0	0	0	0	0	0	
	東峰村	0	0	0	0	0	0	0	
	うきは市	0	0	0	0	0	0	0	
	大刀洗町	0	0	0	0	0	0	0	
南筑後	小郡市	0	0	0	0	0	0	0	
	柳川市	0	0	0	0	0	0	0	
	八女市	0	0	0	0	0	0	0	
	みやま市	0	0	0	0	0	0	0	
	大川市	0	0	0	0	0	0	0	
	筑後市	0	0	0	0	0	0	0	
	広川町	0	0	0	0	0	0	0	
その他	大木町	0	0	0	0	0	0	0	
	大牟田市	0	0	0	0	0	0	0	
合計	他県	0	0	0	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	
合計		0	0	2	0	0	0	2	

(3) 来所相談		(実件数)							
	本人住所	18歳未満	18歳以上	20代	30代	40代	50代以上	不明	合計
政令都市等	北九州市	0	0	1	0	0	0	0	1
	福岡市	0	1	1	2	0	0	0	4
	久留米市	4	6	4	5	6	2	0	27
筑紫	筑紫野市	0	0	3	5	2	0	0	10
	春日市	0	1	3	6	4	2	1	17
	大野城市	0	0	2	2	3	1	0	8
	那珂川市	0	0	2	0	2	0	0	4
	太宰府市	0	0	1	2	1	1	0	5
	築上町	0	0	0	0	0	0	0	0
京築	行橋市	0	0	1	2	0	0	0	3
	苅田町	0	0	0	0	0	0	0	0
	みやこ町	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊前市	0	0	0	0	0	0	0	0
	吉富町	0	0	0	0	0	0	0	0
	上毛町	0	0	0	0	0	0	0	0
嘉穂・鞍手	鞍手町	0	0	0	0	0	0	0	0
	直方市	0	0	1	0	1	0	0	2
	嘉麻市	0	0	0	0	0	0	0	0
	飯塚市	0	0	2	2	1	0	0	5
	宮若市	0	0	0	0	0	0	0	0
	小竹町	0	0	0	0	0	0	0	0
糸島市	桂川町	0	0	0	0	0	1	0	1
	糸島市	0	0	2	2	2	1	0	7
粕屋	志免町	0	0	0	0	0	0	0	0
	宇美町	1	0	2	1	0	0	0	4
	須恵町	0	0	1	2	0	0	0	3
	新宮町	0	0	0	1	0	0	0	1
	粕屋町	0	0	2	0	0	0	0	2
	古賀市	1	0	1	1	0	0	0	3
	久山町	0	0	0	0	0	0	0	0
	篠栗町	0	0	0	0	0	0	0	0
宗像・遠賀	福津市	0	0	2	0	0	0	0	2
	岡垣町	0	0	0	0	0	0	0	0
	宗像市	0	0	0	0	0	0	0	0
	中間市	0	0	0	1	0	0	0	1
	芦屋町	0	0	0	0	0	0	0	0
	水巻町	0	0	0	0	0	0	0	0
	遠賀町	0	0	0	0	0	0	0	0
田川	田川市	0	0	1	5	2	1	0	9
	香春町	0	0	1	1	2	0	0	4
	福智町	0	0	0	1	0	0	0	1
	糸田町	0	0	0	0	0	2	0	2
	赤村	0	0	0	0	0	0	0	0
	大任町	0	0	0	0	0	0	0	0
	川崎町	0	0	0	1	0	0	0	1
	添田町	0	0	0	0	0	0	0	0
北筑後	朝倉市	0	0	3	3	0	0	0	6
	筑前町	0	0	0	0	0	0	0	0
	東峰村	0	0	0	0	0	0	0	0
	うきは市	0	0	0	0	0	0	0	0
	大刀洗町	0	0	0	1	0	0	0	1
	小郡市	0	0	4	0	0	1	0	5
南筑後	柳川市	0	1	3	0	1	0	0	5
	八女市	2	0	3	1	2	1	0	9
	みやま市	0	0	1	0	1	0	0	2
	大川市	0	0	1	1	0	0	0	2
	筑後市	0	0	2	1	0	0	0	3
	広川町	0	0	0	0	0	0	0	0
	大木町	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	大牟田市	1	0	0	3	1	0	0	5
	他県	0	0	0	0	1	0	0	1
	不明	0	0	1	0	0	0	0	1
合計		9	9	51	52	32	13	1	167

(4) 訪問相談									(実件数)	
	本人住所	18歳未満	18歳以上	20代	30代	40代	50代以上	不明	合計	
政令都市等	北九州市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	福岡市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	久留米市	0	0	0	1	0	0	0	1	
筑紫	筑紫野市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	春日市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大野城市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	那珂川市	0	0	1	0	0	0	0	1	
	太宰府市	0	0	0	0	0	0	0	0	
京築	築上町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	行橋市	0	0	0	1	0	0	0	1	
	苅田町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	みやこ町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	豊前市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	吉富町	0	0	1	0	0	0	0	1	
嘉穂・鞍手	上毛町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	鞍手町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	直方市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	嘉麻市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	飯塚市	0	0	2	1	1	0	0	4	
	宮若市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小竹町	0	0	0	0	0	0	0	0	
糸島市	桂川町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	糸島市	0	0	0	1	0	0	0	1	
粕屋	志免町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	宇美町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	須恵町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	新宮町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	粕屋町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	古賀市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	久山町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	篠栗町	0	0	0	0	0	0	0	0	
宗像・遠賀	福津市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	岡垣町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	宗像市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中間市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	芦屋町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	水巻町	0	0	0	0	0	0	0	0	
田川	遠賀町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	田川市	0	0	0	0	0	1	0	1	
	香春町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	福智町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	糸田町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	赤村	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大任町	0	0	0	0	0	0	0	0	
北筑後	川崎町	0	0	0	1	0	0	0	1	
	添田町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	朝倉市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	筑前町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	東峰村	0	0	0	0	0	0	0	0	
	うきは市	0	0	0	0	0	0	0	0	
南筑後	大刀洗町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小郡市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	柳川市	0	1	0	0	0	0	0	1	
	八女市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	みやま市	0	0	0	0	1	0	0	1	
	大川市	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	筑後市	0	0	0	1	0	0	0	1	
	広川町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大木町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大牟田市	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	他県	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		0	1	4	6	2	1	0	14	

(5) 同行支援		(実件数)								
	本人住所	18歳未満	18歳以上	20代	30代	40代	50代以上	不明	合計	
政令都市等	北九州市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	福岡市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	久留米市	0	1	1	1	0	1	0	4	
筑紫	筑紫野市	0	0	0	0	2	1	0	3	
	春日市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大野城市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	那珂川市	0	0	0	0	1	0	0	1	
	太宰府市	0	0	0	0	0	0	0	0	
京築	築上町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	行橋市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	苅田町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	みやこ町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	豊前市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	吉富町	0	0	0	0	0	0	0	0	
嘉穂・鞍手	上毛町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	鞍手町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	直方市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	嘉麻市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	飯塚市	0	0	1	0	0	0	0	1	
	宮若市	0	0	0	0	0	0	0	0	
糸島市	小竹町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	桂川町	0	0	0	0	0	0	0	0	
粕屋	糸島市	0	0	0	2	0	0	0	2	
	志免町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	宇美町	0	0	1	0	0	0	0	1	
	須恵町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	新宮町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	粕屋町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	古賀市	0	0	1	0	0	0	0	1	
	久山町	0	0	0	0	0	0	0	0	
宗像・遠賀	篠栗町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	福津市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	岡垣町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	宗像市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中間市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	芦屋町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	水巻町	0	0	0	0	0	0	0	0	
田川	遠賀町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	田川市	0	0	0	2	0	1	0	3	
	香春町	0	0	0	1	0	0	0	1	
	福智町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	糸田町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	赤村	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大任町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	川崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	
北筑後	添田町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	朝倉市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	筑前町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	東峰村	0	0	0	0	0	0	0	0	
	うきは市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大刀洗町	0	0	0	0	0	0	0	0	
南筑後	小郡市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	柳川市	0	0	1	0	0	0	0	1	
	八女市	0	0	1	0	0	0	0	1	
	みやま市	0	0	0	0	0	1	0	1	
	大川市	0	0	0	0	1	1	0	2	
	筑後市	0	0	0	1	0	0	0	1	
	広川町	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	大木町	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大牟田市	0	0	0	0	0	0	0	0	
	他県	0	0	0	0	0	0	0	0	
不明	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	0	1	6	7	4	5	0	23		

Ⅱ ひきこもり相談の本人状況(令和2年4月～令和3年3月)

1 本人について

	(実件数)				(実件数)	
	電話	オンライン	来所	訪問	同行	
18歳未満	76	1	33	0	3	
18歳以上	47	0	13	3	0	
20代	125	1	65	7	10	
30代	71	0	33	3	6	
40代	26	0	14	1	1	
50歳以上	9	0	2	0	0	
不明	206	0	7	0	3	
合計	560	2	167	14	23	

	(実件数)				
	電話	オンライン	来所	訪問	同行
6か月未満	37	0	13	0	2
6か月～1年未満	29	1	18	4	2
1年～3年未満	78	0	37	1	4
3年～5年未満	45	0	16	1	2
5年～7年未満	28	0	15	1	0
7年～10年未満	34	1	19	1	2
10年以上	120	0	42	5	8
不明	189	0	7	1	3
合計	560	2	167	14	23

	(実件数)				
	電話	オンライン	来所	訪問	同行
中学在学中	6	0	3	0	0
中学卒業	23	0	9	0	0
高校在学中	26	0	7	0	0
高校卒業	78	0	38	2	11
高校中退	27	1	16	1	1
短期大学在学中	2	0	1	0	0
短期大学卒業	5	0	6	0	0
短期大学中退	2	0	1	1	1
大学在学中	10	0	2	0	0
大学卒業	47	1	32	3	2
大学中退	25	0	15	1	2
大学院在学中	2	0	0	0	0
大学院卒業	7	0	4	0	0
大学院中退	0	0	0	0	0
専門学校在学中	3	0	0	0	0
専門学校卒業	21	0	18	4	5
専門学校中退	13	0	7	2	0
その他	3	0	0	0	0
不明	260	0	8	0	1
合計	560	2	167	14	23

	(実件数)				
	電話	オンライン	来所	訪問	同行
職場になじめなかった	61	0	32	4	8
病気	59	0	16	1	4
就職活動がうまくいかなかった	23	0	10	2	1
不登校	66	1	22	1	3
人間関係がうまくいかなかった	29	0	23	2	2
大学になじめなかった	12	0	5	0	0
受験に失敗した	8	0	4	1	1
その他	50	1	15	2	2
不明	252	0	40	1	2
合計	560	2	167	14	23

(5) 援助方針とひきこもりの要因

(実件数)

		来所	訪問	同行	%
第1群	一般的な精神科医療の対象となる群。 薬物療法などの生物学的治療が必要とされるケース。	18	2	1	10%
第2群	何らかの発達障害を認め、発達臨床や発達支援の観点が必要になるケース。	19	3	4	13%
第3群	主診断や副診断のいずれかにパーソナリティ障害(傾向)が含まれ、個人精神療法や集団療法、心理社会的支援が中心となるケース。	19	0	6	12%
不明		111	9	12	65%
合計		167	14	23	100%

(6) 来所者の診断別件数

(実件数)

		来所	訪問	同行
診断あり	統合失調症	7	1	1
	気分障害	10	0	0
	不安障害	6	1	2
	広汎性発達障害	6	1	1
	精神遅滞等	4	1	1
	パーソナリティ障害	3	0	0
	身体表現性障害	1	0	0
	その他	9	0	3
診断なし		121	10	12
不明		0	0	3
小計		121	10	15
合計		167	14	23

※割合(%)は「診断あり」のみとして、「診断なし」を除く。

2 相談経路

(実数/複数回答)

	電話	オンライン	来所	訪問	同行
保健福祉環境事務所、保健所	10	0	2	0	0
精神保健福祉センター	14	0	8	3	4
市町村・行政関係	26	0	10	1	1
他自治体ひきこもりセンター	6	0	2	0	0
児童相談所	0	0	0	0	0
ひきこもり民間支援団体	2	0	3	0	0
労働行政関係	1	0	0	0	0
臨床心理センター	0	0	0	0	0
医療機関	4	0	6	0	0
社会福祉関係	5	0	3	0	1
学校教育関係	3	0	1	0	0
司法警察関係	1	0	0	0	0
訪問看護	0	0	0	0	0
新聞・ラジオ・テレビ	25	0	13	1	2
チラシ・リーフレット	37	0	17	2	4
家族・友人に勧められて	5	0	9	0	0
ホームページ	72	0	38	3	4
当センター	108	2	44	2	6
その他	21	0	10	0	1
不明	223	0	6	2	0
合計	563	2	172	14	23

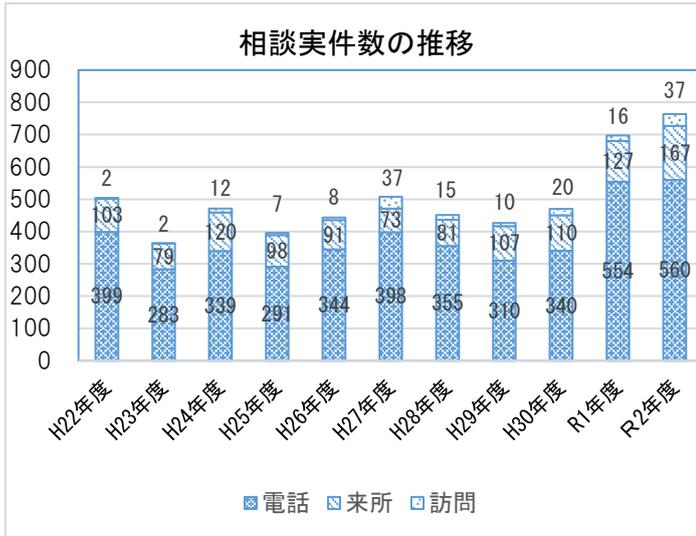
3 連携及び、紹介機関		(実件数/複数回答)				
	電話	オンライン	来所	訪問	同行	
保健福祉環境事務所、保健所	32	0	1	3	1	
精神保健福祉センター	8	0	1	1	2	
他自治体ひきこもりセンター	13	0	4	0	0	
医療機関	5	0	5	0	0	
臨床心理センター	0	0	0	0	0	
発達障がい者支援センター	1	0	1	0	0	
児童相談所	4	0	0	0	0	
自立相談支援機関	61	0	10	5	8	
社会福祉協議会	6	0	1	0	0	
地域包括支援センター	22	0	0	1	6	
福祉事務所(民生委員)	0	0	0	0	0	
自立相談支援機関以外の市町村窓口	14	0	0	0	0	
若者サポートステーション	17	0	8	0	6	
障害者就業・生活支援センター	2	0	2	0	0	
ハローワーク	0	0	1	0	0	
その他の就労支援機関	3	0	0	0	1	
学校教育関係	7	0	2	0	1	
司法・警察	0	0	0	0	0	
民間支援団体	5	0	2	0	0	
その他	35	0	10	4	3	
合計	235	0	48	14	28	
4 転帰		(実件数)				
	総数					
初回終了	8					
センターにて継続	139					
関係機関に紹介	20					

福岡県ひきこもり地域支援センター開所以降の相談状況
(平成22年6月～令和3年3月)

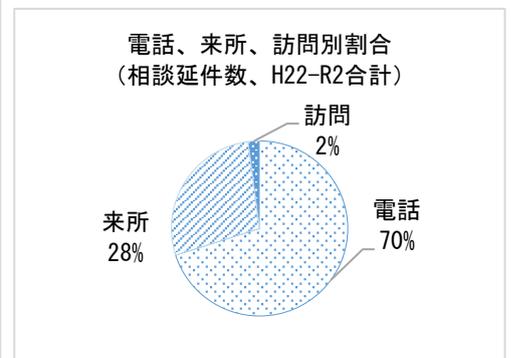
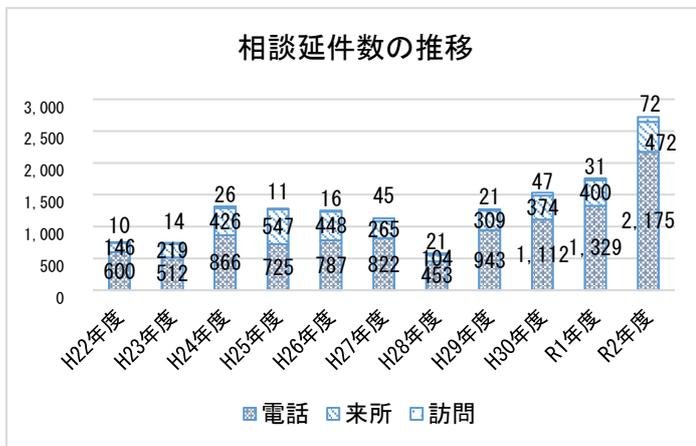
1 相談件数の推移（電話、来所、訪問別）

平成22年6月に福岡県ひきこもり地域支援センターを設置して以降、毎年の相談実件数は400～500件で推移してきたが、令和元年度は約700件、令和2年度は、766件と過去の相談件数を大きく上回っている。

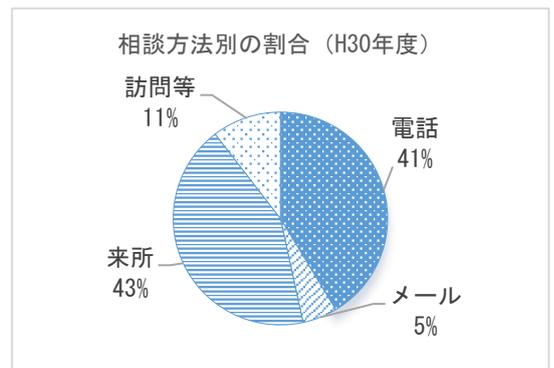
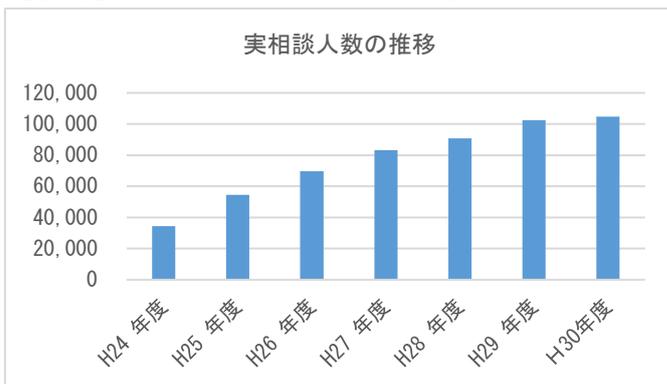
相談延件数を相談方法別にみると、電話相談が約7割を占めている。



	実件数	延件数
H22年度	504	756
H23年度	364	745
H24年度	471	1,318
H25年度	396	1,283
H26年度	443	1,251
H27年度	508	1,132
H28年度	451	578
H29年度	427	1,273
H30年度	470	1,533
R1年度	697	1,760
R2年度	766	2,721



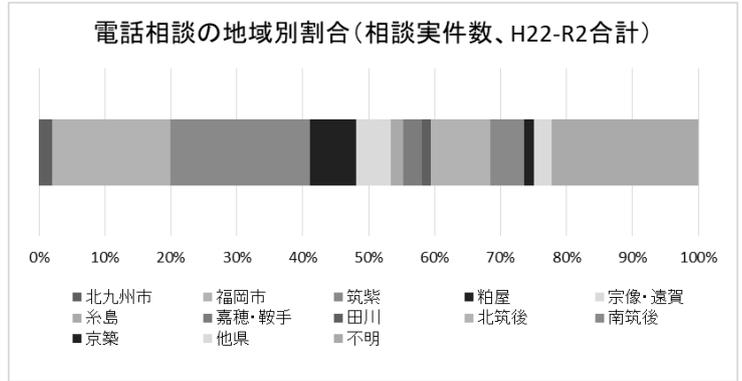
【参考】全国のひきこもり地域支援センターの状況



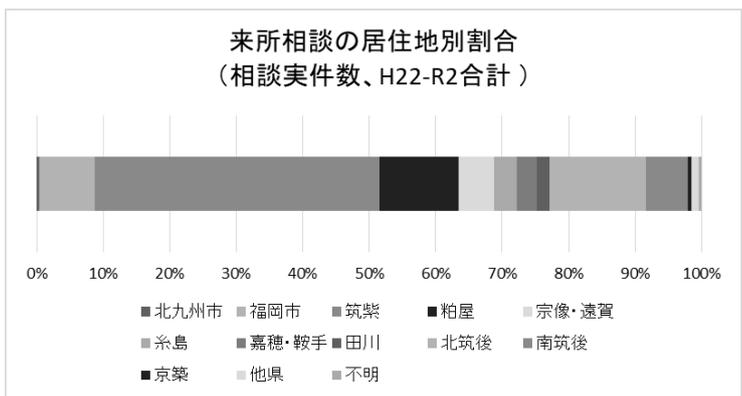
2 居住地別の相談状況

これまでの居住地別の相談利用状況では、電話相談では福岡地域が約5割、来所相談では約7割を占め、筑豊及び筑後地域の利用は約2割にとどまっていた。県域全体で相談しやすくなるよう令和2年7月に筑豊、筑後サテライトオフィスを設置した。

<電話> H22-R2案件数の合計			地域別割合	
	H22-R2案件数の合計	割合		
北九州市	90	2%	福岡地域	2,303 (53.2%)
福岡市	776	18%	(福岡市、筑紫、粕屋、宗像・遠賀、糸島)	
筑紫	911	21%	筑豊地域	331 (7.6%)
粕屋	307	7%	(北九州市、嘉穂・鞍手、田川、京築)	
宗像・遠賀	225	5%	筑後地域	615 (14.2%)
糸島	84	2%	(北筑後、南筑後)	
嘉穂・鞍手	125	3%	他県・不明	1,082 (25.0%)
田川	55	1%		
北筑後	393	9%		
南筑後	222	5%		
京築	61	1%		
他県	118	3%		
不明	964	22%		
計	4,331	100%		



<来所> H22-R2案件数の合計			地域別割合	
	H22-R2案件数の合計	割合		
北九州市	5	0%	福岡地域	901 (71.7%)
福岡市	105	8%	(福岡市、筑紫、粕屋、宗像・遠賀、糸島)	
筑紫	538	43%	筑豊地域	75 (6.0%)
粕屋	149	12%	(北九州市、嘉穂・鞍手、田川、京築)	
宗像・遠賀	67	5%	筑後地域	261 (20.8%)
糸島	42	3%	(北筑後、南筑後)	
嘉穂・鞍手	38	3%	他県・不明	19 (1.5%)
田川	24	2%		
北筑後	183	15%		
南筑後	78	6%		
京築	8	1%		
他県	14	1%		
不明	5	0%		
計	1,256	100%		



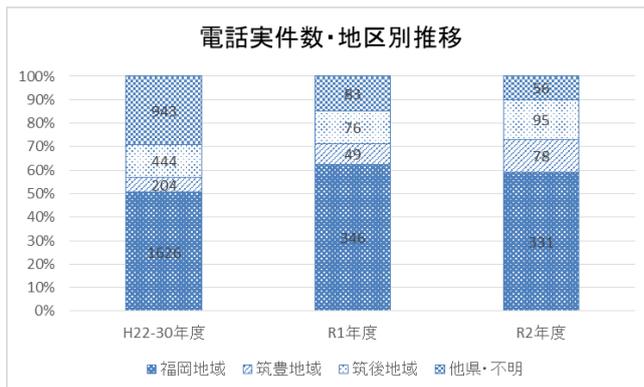
※北筑後に久留米市、南筑後に大牟田市含む

<電話案件数>

	H22-30年合計		R1		R2	
	実数	割合	実人数	割合	実人数	割合
福岡地域	1,626	51%	346	62%	331	59%
筑豊地域	204	6%	49	9%	78	14%
筑後地域	444	14%	76	14%	95	17%
他県・不明	943	29%	83	15%	56	10%

<来所案件数>

	H22-30年合計		R1		R2	
	実数	割合	実人数	割合	実人数	割合
福岡地域	721	75%	109	86%	71	43%
筑豊地域	41	4%	5	4%	29	17%
筑後地域	183	19%	13	10%	65	39%
他県・不明	17	2%	0	0%	2	1%



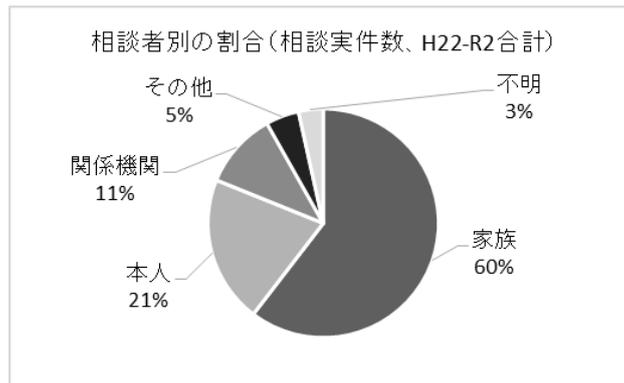
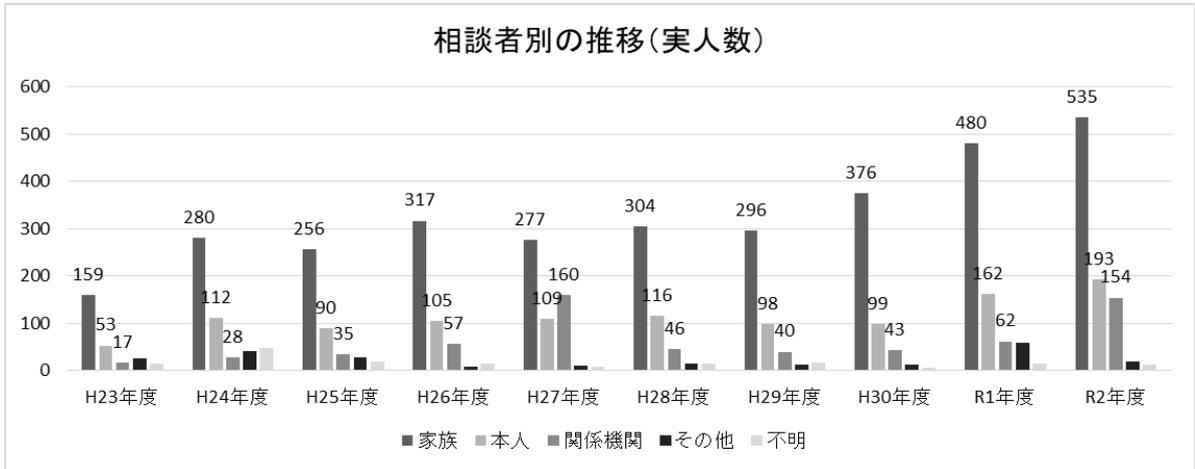
【参考】 県ひきこもり地域支援センター及びサテライトの管轄人口

	管轄HC	人口(※)	割合
福岡県ひきこもり地域支援センター(春日市)	筑紫	433,521	1,104,295 42.4%
	粕屋	283,544	
	糸島	96,475	
	宗像・遠賀	290,755	
筑豊サテライト	嘉穂・鞍手	290,460	600,968 23.1%
	田川	126,104	
	京築	184,404	
筑後サテライト	北筑後	186,554	896,326 34.5%
	南筑後	405,220	
	久留米市	304,552	
合計		2,601,589	2,601,589

※平成27年国勢調査

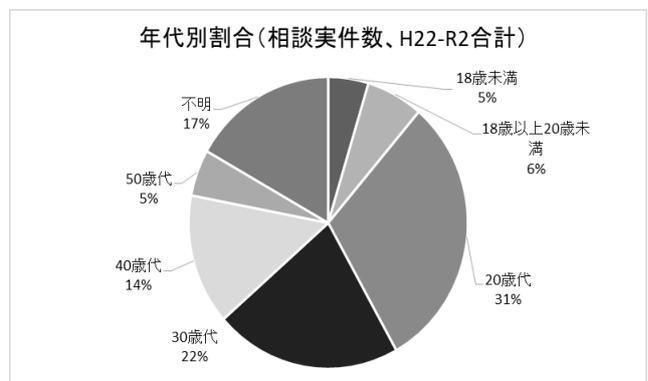
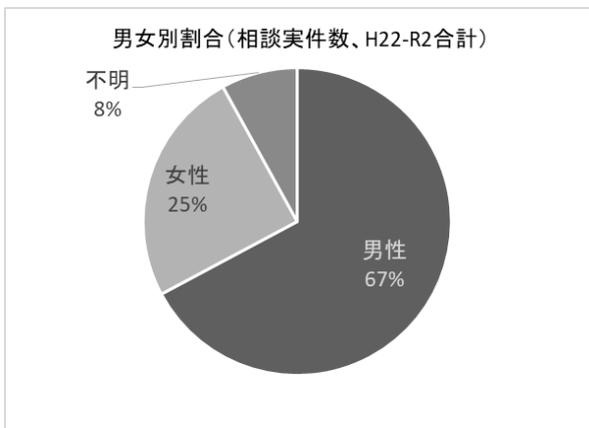
3 相談者別の推移

相談者別にみると家族が約 6 割、本人が約 2 割、関係機関が約 1 割となっている。



4 ひきこもり本人の性別、年代別等の状況

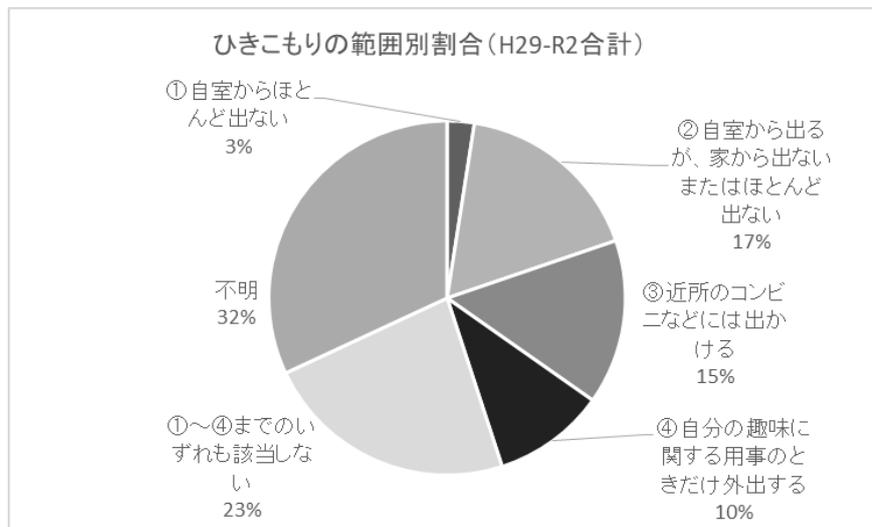
ひきこもり本人は男性が 7 割近くを占め、年代別にみると 20 歳代が約 3 割、30 歳代が約 2 割の順に多く、40 歳代以上は約 2 割となっている。



5 ひきこもりの範囲

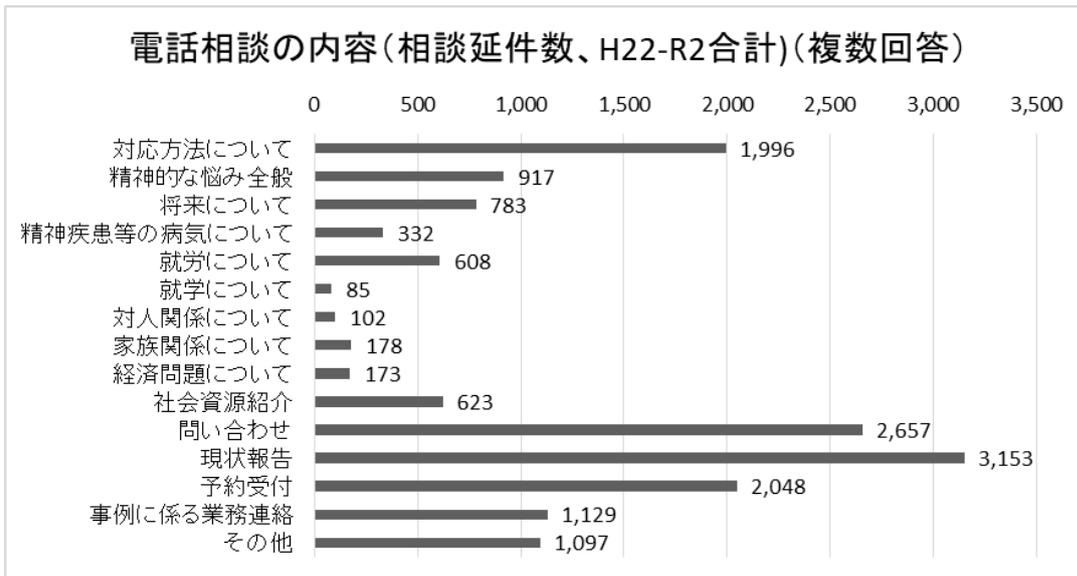
ひきこもりの範囲別にみると、「自室から出るが家から出ないまたはほとんど出ない」(17%)、「近所のコンビニなどには出かける」(15%)、「自分の趣味に関する用事のみだけ外出する」(10%)、「自室からほとんど出ない」(3%)の順となっている。

		H29-R2合計
①自室からほとんど出ない	狭義のひきこもり	91
②自室から出るが、家から出ないまたはほとんど出ない		641
③近所のコンビニなどには出かける	(34.8%)	558
④自分の趣味に関する用事のみだけ外出する	準ひきこもり	379
①～④までのいずれも該当しない	(33.3%)	854
不明	(32.0%)	1185
		3708

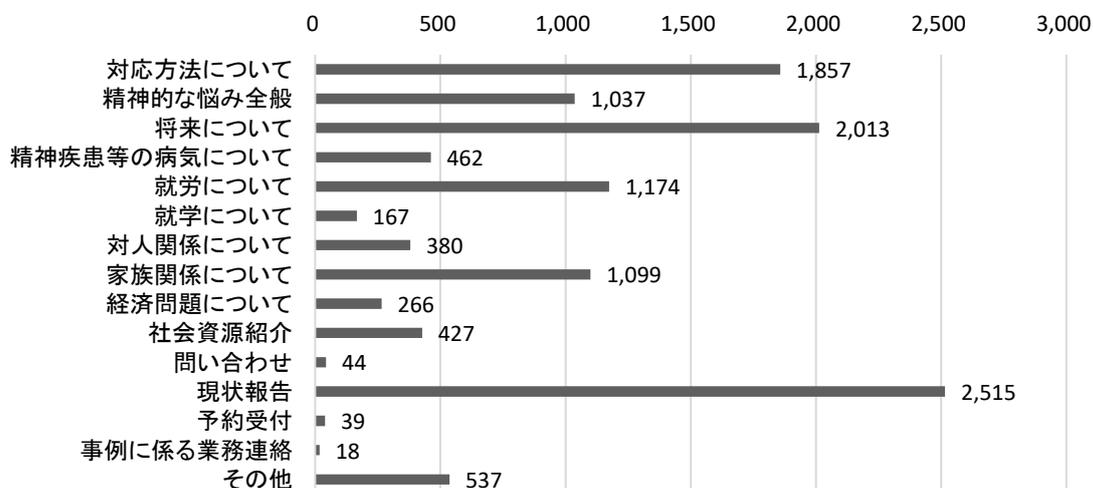


6 相談内容

相談内容では、電話相談、来所相談とも継続相談による「現状報告」が多くなっているが、相談主旨は「対応方法」「精神的な悩み全般」「将来について」が多い。



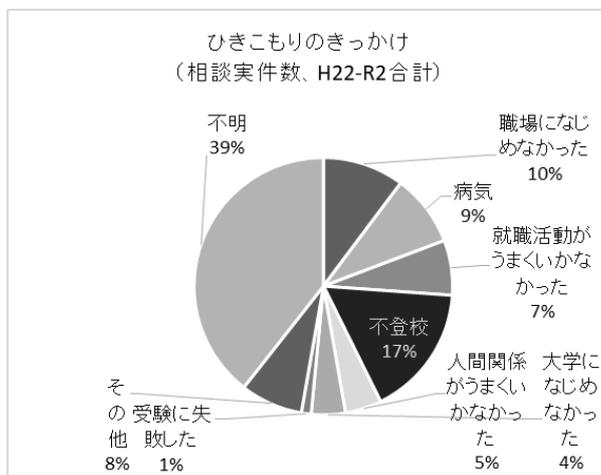
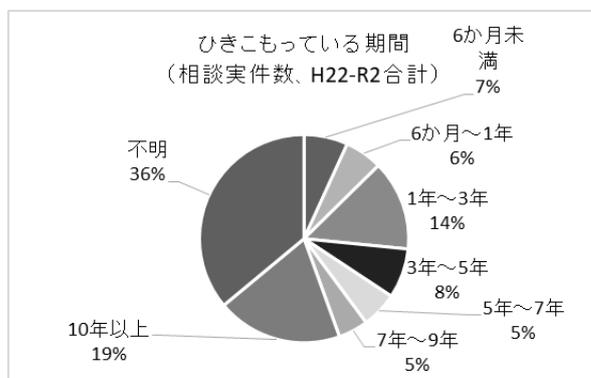
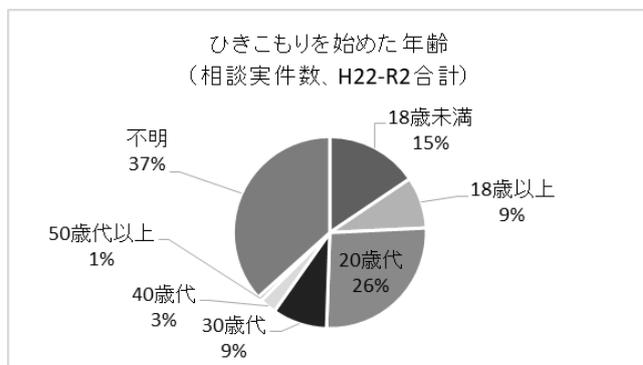
来所相談の内容(相談延件数、H22-R2合計)(複数回答)



7 ひきこもりを始めた年齢、期間、きっかけ

ひきこもりを始めた年齢は、20歳代(26%)、18歳未満(15%)の順に多く、ひきこもりの期間は、10年以上が約2割、5年以上10年未満が約1割となっている。

ひきこもりのきっかけは、「不登校」(17%)、「職場になじめなかった」(10%)、「病気」(9%)等、様々である。



8 援助方針に基づく分類と診断名

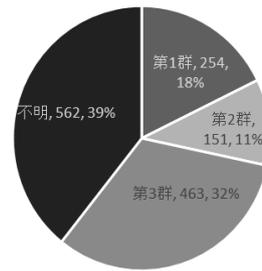
支援を方向づけするための分類（※）でみると、パーソナリティ障害等による精神療法的アプローチや社会的支援が中心となるケース（第3群）が約3割を占め、精神科医療が中心となるケース（第1群）が2割、発達障害に特性に応じた支援が中心となるケース（第2群）が約1割となっている。

診断がつくケースは3割に満たず、診断がつくケースは第1群が多い。

※診断と支援方針に基づいた分類。「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」による

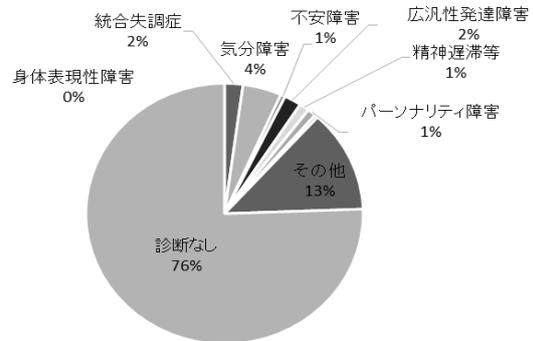
第1群	一般的な精神科医療の対象となる群。薬物療法などの生物的治療が必要とされるケース
第2群	何らかの発達障害を認め、発達臨床や発達支援の観点が必要になるケース
第3群	主診断や副診断のいずれかにパーソナリティ障害（傾向）が含まれ、個人精神療法や集団療法、心理社会的支援が中心となるケース

援助方針とひきこもりの要因（相談案件数、H22-R2合計）



診断あり	診断名	合計
	統合失調症	29
気分障害	59	
不安障害	9	
広汎性発達障害	29	
精神遅滞等	18	
パーソナリティ障害	7	
身体表現性障害	6	
その他	178	
診断なし	1129	
不明	3	
合計	1467	

来所相談の診断別割合（相談案件数、H22-R2合計）

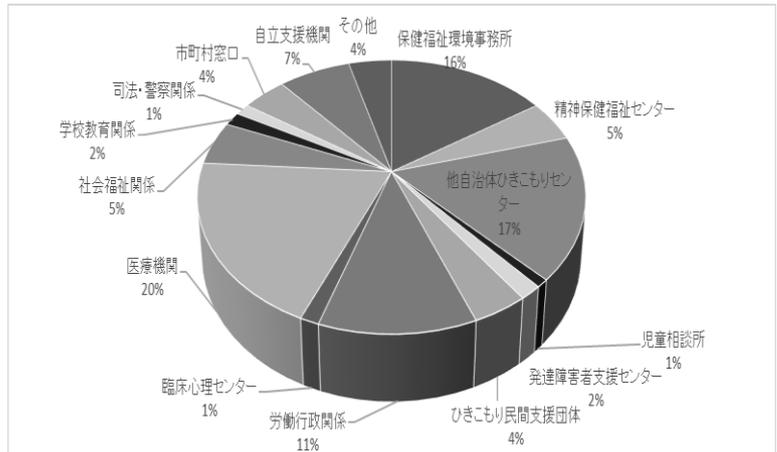


9 連携及び紹介機関

連携や紹介を行った関係機関は、医療機関（20%）、保健福祉（環境）事務所（16%）が多い。

連携及び紹介先機関（H22-R2）

機関名	計
保健福祉環境事務所	491
精神保健福祉センター	155
他自治体ひきこもりセンター	527
児童相談所	28
発達障害者支援センター	50
ひきこもり民間支援団体	123
労働行政関係	346
臨床心理センター	42
医療機関	611
社会福祉関係	163
学校教育関係	51
司法・警察関係	44
市町村窓口	135
自立支援機関	222
その他	133
計	2,705



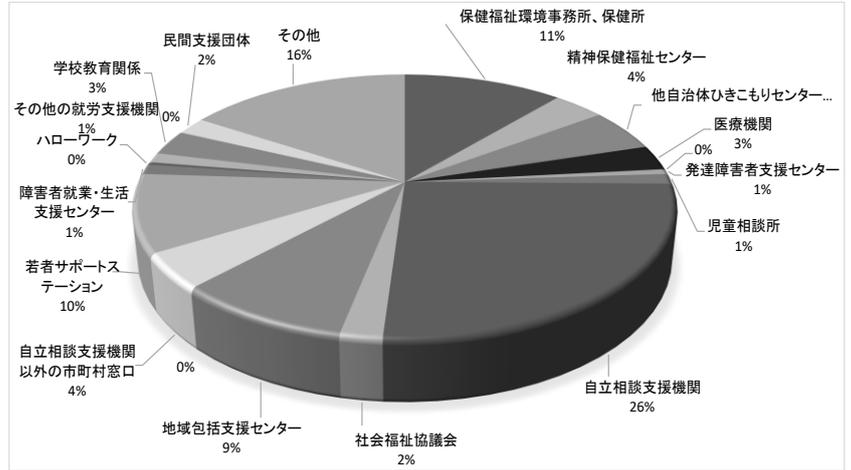
連携を図り支援を繋いだ関係機関を具体的に把握するため、令和2年度からは下記分類で紹介先機関を見直した。

令和2年度では、自立相談支援機関へつないだ人が最も多く（26%）、次いで保健福祉環境事務所（保健所）（11%）、若者サポートステーション（10%）となっている。

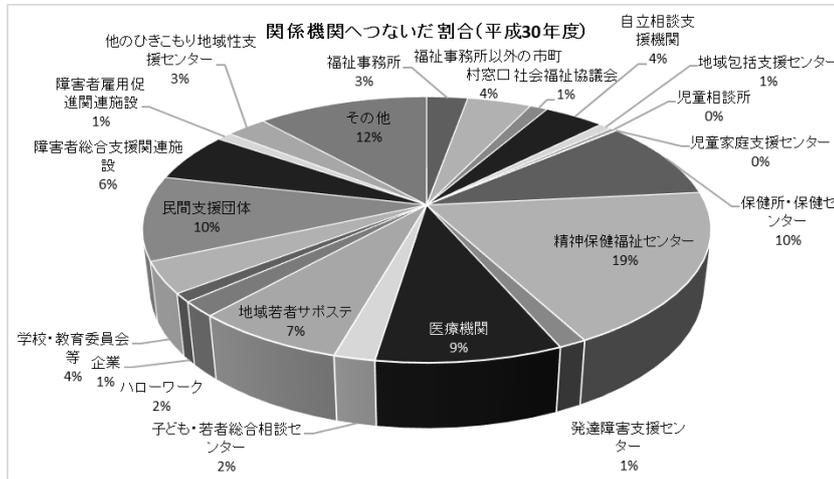
連携及び紹介先機関(R2)

機関名	計
保健福祉環境事務所、保健所	37
精神保健福祉センター	12
他自治体ひきこもりセンター	17
医療機関	10
臨床心理センター	0
発達障害者支援センター	2
児童相談所	4
自立相談支援機関	84
社会福祉協議会	7
地域包括支援センター	29
福祉事務所（民生委員）	0
自立相談支援機関以外の市町村窓口	14
若者サポートステーション	31
障害者就業・生活支援センター	4
ハローワーク	1
その他の就労支援機関	4
学校教育関係	10
司法・警察関係	0
民間支援団体	7
その他	52

※R2年度より連携先機関の区分を変更した。



【参考】全国のひきこもり地域支援センターの状況



福岡県 ひきこもり地域支援センター

サテライトオフィス 開設!

ひきこもりの状態はひとりひとり違います。

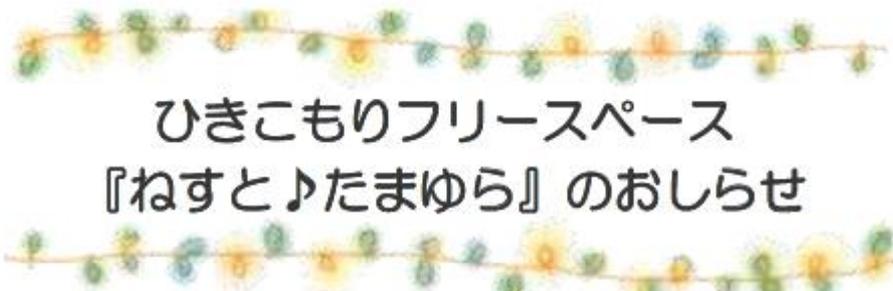
ご本人が、どのような社会参加を望み、私たちにどのような支援ができるのかという視点から、ご本人の状態にあわせたきめ細かな対応を行うため、福岡県の筑豊地域と筑後地域にサテライトオフィスを開設しました。ひとりで悩まず、ぜひご相談ください。

ご本人やご家族だけで問題を解決することが困難な場合も少なくありません。

甘えやなまけだと思われることがありますが、そうではありません。

筑豊・筑後
サテライトオフィスは
令和2年7月1日に
開設!

ひきこもりとは、様々な要因によって就労や就学、友人との交流など社会参加の場面がせばまり、自宅以外での生活の場が長期に失われている状態をさします。



ひきこもりフリースペース 『ねすと♪たまゆら』のおしらせ

家から一歩踏み出して、誰かと一緒に時間を過ごしてみませんか？



『ねすと♪たまゆら』は、参加されている方と一緒に考えた
フリースペースの名前です。



「ねすと」には、いこいの場、「たまゆら」には、ほんのしばらくという意味があります。
“すこしの間、安らいで過ごせる場所になってほしい”という思いで名づけました。



ぜひ一度、参加されてみませんか？
見学のみも可能です。ご連絡お待ちしております。



開催日

毎月2回の開催です。詳細は、裏面開催日程をご参照ください。

午後2時から午後4時（この間なら、いつ来られても、いつ帰られても自由です）

ねすと♪たまゆらに
お茶を飲みに来てね

無理せずにあなたのペースを
大事にしてね♪

無理して話さなくても
大丈夫！



ご利用案内

- 【対象者】福岡県にお住まいの社会的ひきこもり状況にあるご本人
- 【場所】福岡県精神保健福祉センター
〒816-0804 福岡県春日市原町3丁目1-7 南側2階
- 【費用】無料
- 【参加申込】参加ご希望の方には、事前に個別でお話をうかがいます。
まずは下記の専用電話にご連絡ください。
- 【申込先】福岡県ひきこもり地域支援センター（福岡県精神保健福祉センター内）
TEL092-582-7530

家族サロンのご案内

< ひきこもりのご家族対象 >

こういとき家族にどう対応したらいいんだろう？
ひとりで悩んでいませんか？

家族サロンは、ひきこもりについて同じ悩みを持つご家族となんでもお話しできる場所です。
ひとりで悩まずに一度参加されてみませんか？
みなさまの参加をお待ちしております。

話したくない時は
話さなくてもいいんですよ

参考になる資料なども
ありますよ
一度、きくみませんか？



○日 時:毎月第3金曜日 午後2時から4時(出入り自由)

※事前予約不要

ただし初回のみ事前に個別にお話を伺います。
まずは下記の専用電話にご連絡ください。

○場 所:福岡県ひきこもり地域支援センター(福岡県精神保健福祉センター内)

○連絡先:TEL 092-582-7530

〒816-0804 福岡県春日市原町3丁目1-7 南側2階

令和2年度 ひきこもり家族教室のご案内

～ひとりで悩んでいませんか？～

福岡県ひきこもり地域支援センターでは、社会的ひきこもり状態の方のご家族を対象に家族教室を開催します。ひきこもりについて正しく理解したり、言葉かけの工夫などを学んだりする時間と、参加者同士の交流の時間を用意しています。お気軽にご参加ください。

○対象者○ 県内に居住するひきこもり状態にある方のご家族（20名程度）

○日 時○ 年間の全5回の教室です。

毎月第1木曜日（2月は第3または第4木曜日） 14:00～15:30

	開催日程	内 容
第1回	令和2年 8月 6日（木）	ひきこもりの基礎知識、支援センターの役割
第2回	令和2年 9月 3日（木）	ひきこもりの症状と対応
第3回	令和2年 10月1日（木）	家族の支援と役割（DVD）
第4回	令和2年 11月5日（木）	ひきこもり本人からのメッセージ
第5回	令和2年 12月 3日（木）	家族の支援と役割（外部講師予定）

参加者からの感想

「参加することで、気持ちが楽になった。」「悩んでいるのは自分だけじゃないと思った。」「ひきこもり本人の気持ちを理解できるようになった気がした。」「親の方が変わって、声をかけていこうと思った」

ひとりで抱え込まず、
教室に参加してみませんか？

- 申込み○ ①随時、申込みを受け付けます。
②参加ご希望の方には、事前に個別でお話をうかがいます。

○場 所○ 福岡県精神保健福祉センター 研修室



お問い合わせ・申し込み

福岡県精神保健福祉センター（ひきこもり地域支援センター）

福岡県春日市原町3丁目1-7 南側2階

TEL 092-582-7530

福岡県ひきこもり対策推進事業業務報告書

<発行日> 令和3年7月

<編集> 福岡県ひきこもり地域支援センター
福岡県精神保健福祉センター

<発行> 福岡県精神保健福祉センター

<連絡先>

〒816-0804

福岡県春日市原町 3-1-7 南側 2F

福岡県ひきこもり地域支援センター（福岡県精神保健福祉センター内）

TEL 092-582-7530 FAX 092-582-7505

<ホームページ>

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/b01/hikikomorishien.html>

